

久喜市高校生環境ワークショップについて

活動内容① ミステリーカード作成



埼玉県で農家を営む大澤さん一家は、青パパイアに注目し、生産に取り組んでいる。この青パパイアは、栽培が比較的容易であり、防除作業もいらないため、遊休農地の解消にも大きく貢献している。

近年、異常気象による猛暑が増えることで、埼玉県でも熱帯性の作物であるパパイアが食卓に出回る機会も増えるかもしれない。

国山典・NHK 首都圏ナビ「首都圏のニュースや暮らしを豊かにする情報を届けます」
<https://www.nhk.or.jp/shutoken/w/20221114a.html>



埼玉県内の公園で娘が遊んでいたところ、クモに咬まれてしまった。

「かなり大きなクモで背中に赤い線があった」と娘は言っている。痛みが出てきてから、両親は心配になり娘を病院に連れて行った。

診断結果はもうすぐわかるだろう。

埼玉県環境科学国際センター作成のミステリーカードの例

- ・WS参加者が気候変動を身近な問題として認識できるようA-PLAT掲載の「気候変動適応のミステリー」を埼玉県の事例と差し替えることとした。

→ 埼玉県気候変動適応センターが中心となり「埼玉県版ミステリーカード」作成

活動内容② 第1回ワークショップ (6/16)

- ・公募の結果、高校生9名がWS参加。
- ・第1回では参加者が2班に分かれ、ミステリーカードを用いて議論し、最終的に代表者が発表を行った。
- 各班にはファシリテーターとして日本大学理工学部の学生が参加した。



ミステリーカードを使った議論の様子
 中央のファシリテーターは日本大学理工学部の学生

→ カードに描かれた事象のうち、「コメ」、「青パパイア」を研究テーマとすることを各グループの話し合いで決定した。

活動内容③ 第2回ワークショップ (7/21)

- ・講師として招いた埼玉県春日部農林振興センター、JA南彩から高温耐性米「彩のきずな」や「青パパイア」の導入経緯や現状の課題についてヒアリングを行う。

→ いずれのテーマも課題は「認知度向上」にあるとし、各班で解決手段を検討することとなった。



JA南彩職員が青パパイアの栽培を始めた経緯の説明を行う

久喜市高校生環境ワークショップについて

活動内容④ 成果物について

・「コメ」班は「彩のきずな」の認知度向上のためのポスターを作成、消費者の目に入るようJA直売店に掲示を行った。



「コメ」班の高校生作成ポスター

活動内容④ 成果物について

・「青パパイヤ」班はレシピを紹介する動画を作成し、市公式YOUTUBEチャンネルに掲載、若い世代に親和性が高い手法での情報拡散を狙った。



「青パパイヤ」班の調理動画
(久喜市公式YOUTUBEチャンネル)
https://youtube.com/shorts/3W42gVxBL_0



活動内容⑤ 成果発表会 (9/22)

・ワークショップの締めくくりとして「SAITAMA環境フェア&子どもエコフェスティバル」(主催：埼玉県、イオンモール上尾)において、大学生とともに研究成果のステージ発表を行った。



ステージ発表



終了後の集合写真